

# 平成28年度市民アンケート結果報告書

宗 像 市

(問い合わせ先)

宗像市 経営企画部 経営企画課

電話：36 - 1192

## 目 次

1 . 調査の概要 .....	1
( 1 ) 調査の目的 .....	1
( 2 ) 調査の方法 .....	1
( 3 ) 調査内容 .....	1
( 4 ) 回収結果 .....	3
( 5 ) 標本誤差 .....	4
( 6 ) 回答者の属性 .....	4
( 7 ) 報告書の見方 .....	6
2 . 調査結果 .....	7
( 1 ) 住まいなどについて .....	7
( 2 ) 防災・防犯対策について .....	12
( 3 ) 交通について .....	17
( 4 ) 健康・福祉について .....	20
( 5 ) 子育てなどについて .....	23
( 6 ) 国際交流について .....	27
( 7 ) 男女・人権意識について .....	31
( 8 ) 文化活動・歴史遺産について .....	35
( 9 ) スポーツ・運動について .....	46
( 10 ) 地域活動・ボランティア活動・コミュニティなどについて .....	51
( 11 ) 行政について .....	60
( 12 ) 宗像市が進める 3 1 施策の重要度・満足度について .....	65

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

宗像市の各施策に対する市民の生活実感に基づく現在の満足度、今後の重要度や市の施策の取り組みの結果を評価・分析するための「まちづくり指標」のアンケート調査項目の現状値を把握し、本市の今後のまちづくりに活用する。

### (2) 調査の方法

調査地区 宗像市全域

調査対象 市内在住の18歳以上の男女2,000人

抽出方法 住民基本台帳(平成28年12月末日現在)から無作為抽出

調査方法 郵送による配布、回収

調査期間 平成29年1月16日～2月3日

調査主体 宗像市 経営企画部 経営企画課

### (3) 調査内容

本調査では、日常生活や生活意識及び第二次宗像市総合計画の前期基本計画の31施策ごとに現在の満足度、今後の重要度を尋ねた。アンケート中の各項目と総合計画前期基本計画の施策対応表は、以下のとおりである(表1-1)。

表1-1 アンケート項目と施策の対応表

まちづくりの柱	基本計画中の施策名	施策番号
<b>元気を育む まちづくり</b> (子育て・教育・健康福祉など)	子どもの健やかな成長	1
	子育て環境の充実	2
	教育活動の充実	3
	教育環境の充実	4
	グローバル人材の育成と国際交流の推進	5
	健康づくりの推進	6
	安心できる医療体制の充実と社会保険制度の健全運営	7
	高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	8
	自立した生活の支援	9
	お互いに尊重し、協力し合う社会の充実	10
<b>賑わいのある まちづくり</b> (産業振興・歴史文化・スポーツなど)	観光による地域の活性化	11
	地域産業の活性化	12
	資源を活かした島の活性化	13
	歴史文化の保存と活用	14
	生涯を通じた学習の振興	15
	スポーツの多面活用	16

まちづくりの柱	基本計画中の施策名	整理 番号
<p style="text-align: center;"><b>調和のとれた まちづくり</b></p> <p>(安全安心・環境・都市基盤など)</p>	防災対策の強化	17
	防犯・交通安全・消費生活対策の充実による安全・安心して生活できる環境整備	18
	快適な生活環境の保全	19
	自然環境の保全と再生	20
	調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成	21
	住宅施策の推進	22
	都市基盤の整備	23
	公共交通の利便性の向上	24
<p style="text-align: center;"><b>みんなで取り組む まちづくり</b></p> <p>(コミュニティ・市民活動・行財政基盤など)</p>	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進	25
	市民活動の推進	26
	情報受発信の充実	27
	連携によるまちの経営	28
	情報化の推進・情報の適正管理	29
	計画的かつ効率的な行政経営	30
	公共施設等公共資産の管理、最適化の実践	31

(4) 回収結果

回収数は、877 件（回収率 43.9%）であった。性別、年齢別、居住地別の母数と回収数は以下のとおりである（表 1-2）。

表 1-2 性別・年齢別・居住地別母集団数及び回収数

男女別	人口数	人口割合	回収数	割合
男性	37,847	46.9%	336	38.3%
女性	42,866	53.1%	521	59.4%
無回答			20	2.3%
計	80,713	100.0%	877	100.0%
年齢別	人口数	人口割合	回収数	割合
18～29歳	11,266	14.0%	97	11.1%
30～39歳	11,930	14.8%	112	12.8%
40～49歳	12,483	15.5%	121	13.8%
50～59歳	11,376	14.1%	140	16.0%
60～64歳	7,060	8.7%	113	12.9%
65歳以上	26,598	33.0%	263	30.0%
無回答			31	3.5%
計	80,713	100.0%	877	100.0%
居住地別	人口数	人口割合	回収数	割合
吉武	1,638	2.0%	16	1.8%
赤間	14,203	17.6%	142	16.2%
赤間西	8,127	10.1%	87	9.9%
自由ヶ丘	12,533	15.5%	152	17.3%
河東	13,012	16.1%	140	16.0%
南郷	4,829	6.0%	56	6.4%
東郷	7,911	9.8%	68	7.8%
日の里	10,001	12.4%	112	12.8%
玄海	2,796	3.5%	32	3.6%
池野	3,240	4.0%	32	3.6%
岬	1,828	2.3%	13	1.5%
大島	595	0.7%	7	0.8%
無回答			20	2.3%
計	80,713	100.0%	877	100.0%

(5) 標本誤差

本調査は、標本調査であり、この結果と市民全体の考えとの間には誤差が生じることがある。これは、標本誤差と呼ばれるものであり、以下の式で計算することができる。

本調査の標本誤差は、信頼度を95%とすると、下表のとおりである(表1-3)。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

(注) Nは母集団数(80,713人)、nは有効回答者数877人、pは標本比率を表す。

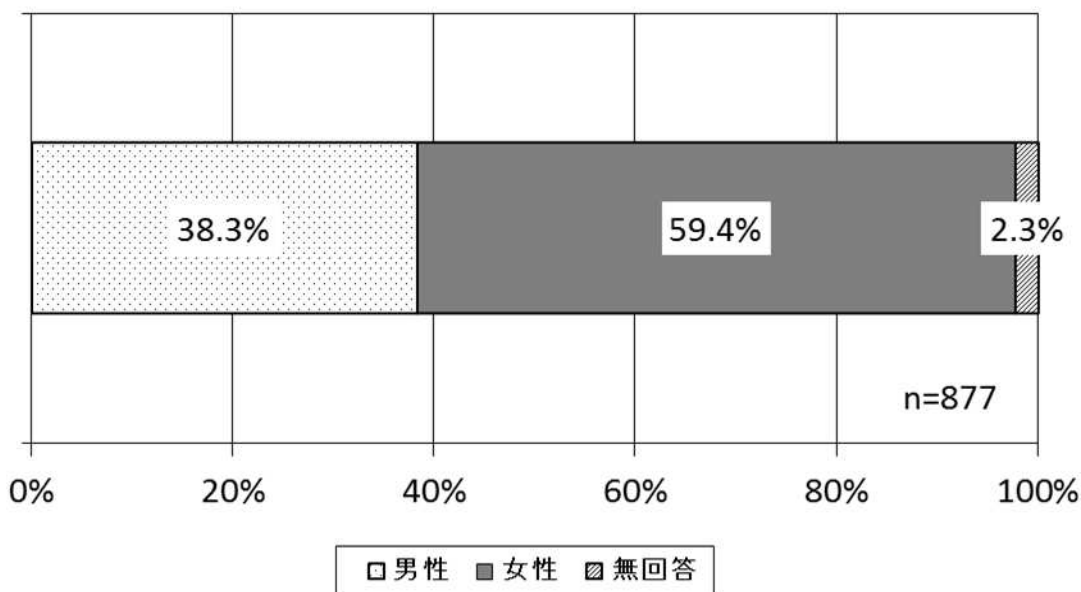
表1-3 標本誤差早見表

標本比率	標本誤差率
10%または90%	±1.97
20%または80%	±2.63
30%または70%	±3.02
40%または60%	±3.22
50%	±3.29

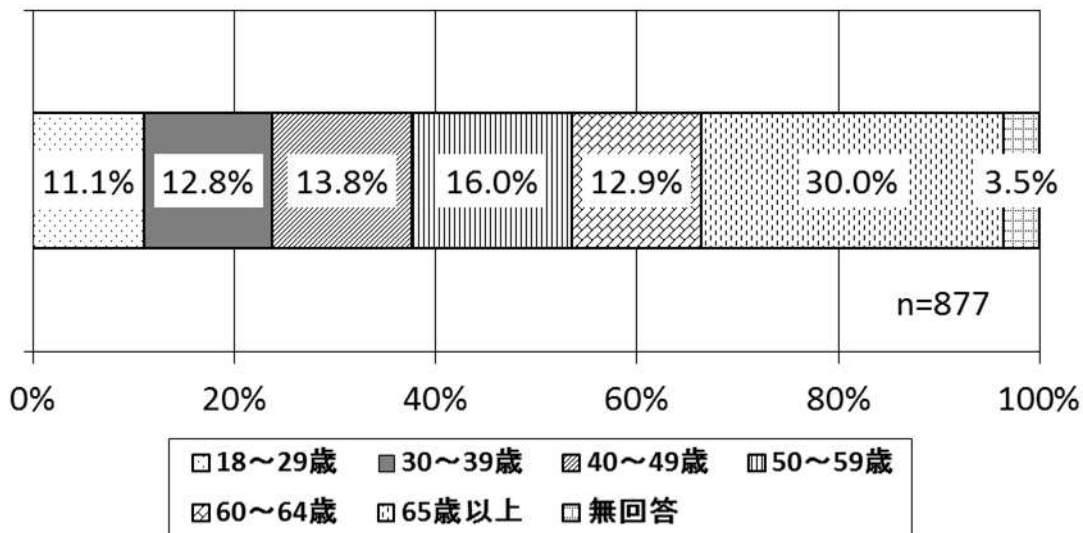
例えば、ある項目の満足度が50%であった場合、母集団の満足度は50%の±3.37%であると推計される。つまり、母集団である宗像市民全体の満足度は、46.63%から53.37%の間にあると考えられる。

(6) 回答者の属性

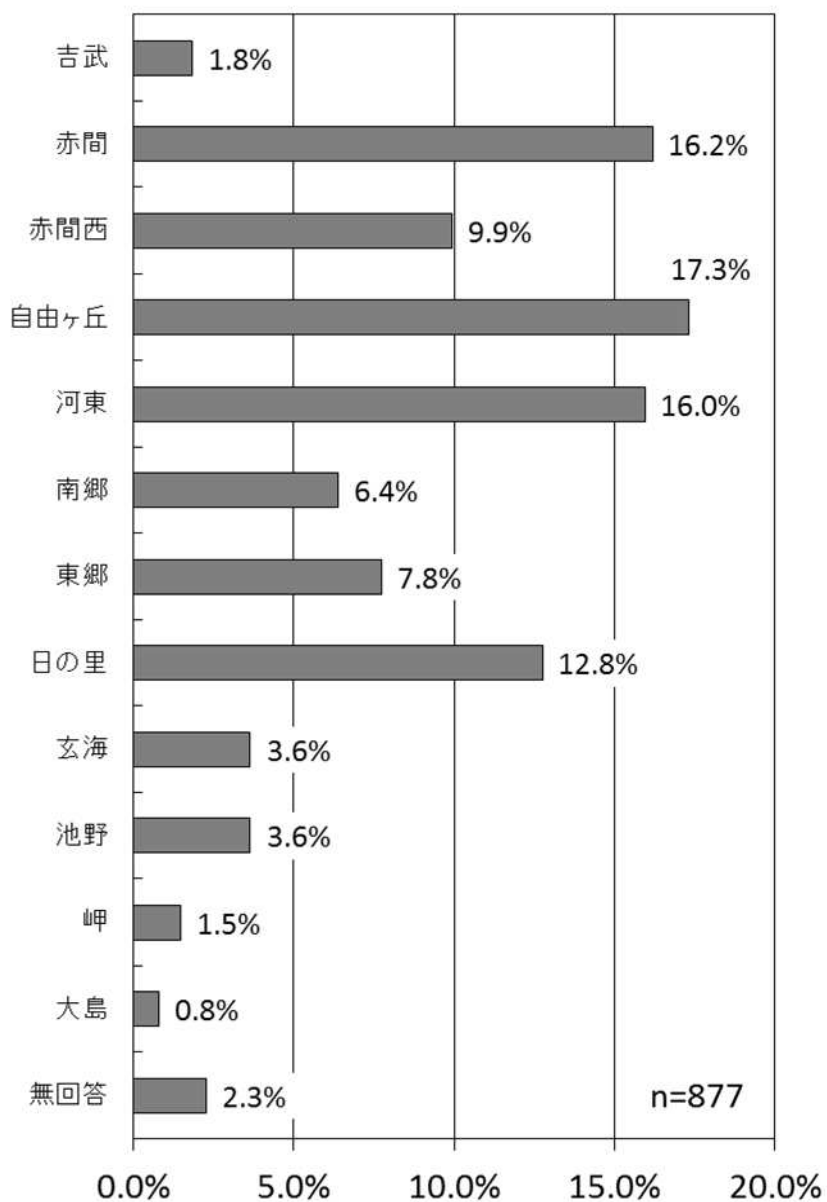
性別



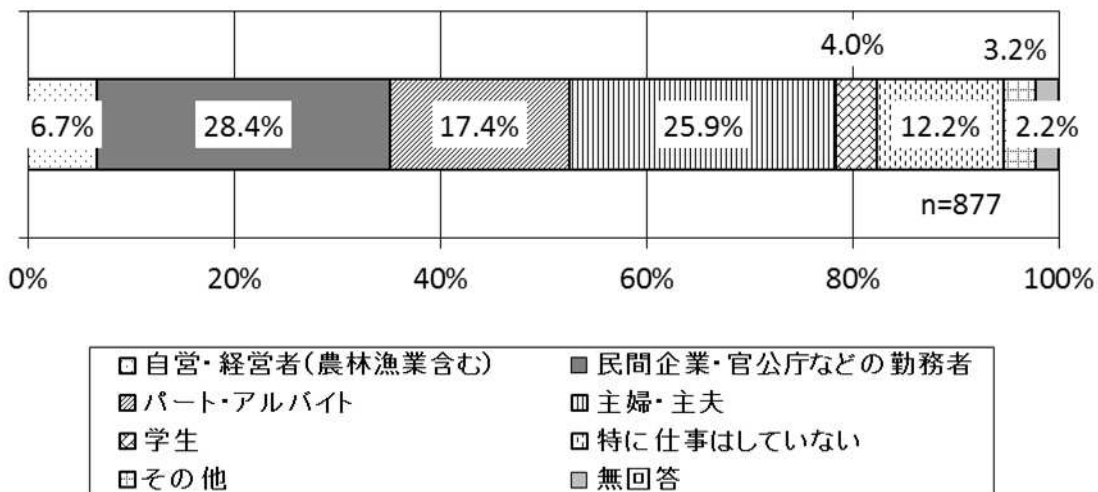
年齢



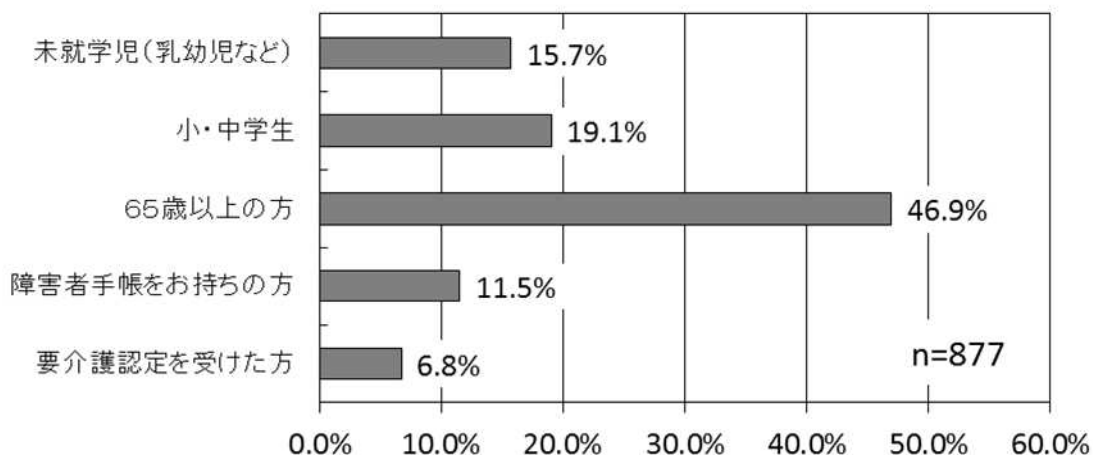
居住地



## 職業



## 回答者自身と同居の家族



### (7) 報告書の見方

本報告書では、調査結果の数値は原則として回答の選択率(%)及び構成比(%)で表記しており、小数点以下第二位を四捨五入している。したがって、合計しても100%にならない場合がある。

居住地別で分析する場合、標本数の関係で、吉武、赤間地区をまとめて「吉武・赤間」地区として、玄海、池野、岬、大島地区をまとめて「旧玄海・大島」地区として分析・表記している。